

# 1 あいさつ

## SST 指導者(教師)

## ポイント

### ウォーミングアップ

おはようございます。  
これから、ソーシャルスキル・トレーニングを始めます。  
少し体を動かしてみましよう。  
まずは首を回します。  
みんなでいっしょにやってみましよう。

### モチベーション

今日のテーマは「あいさつ」です。

あいさつにはどんなあいさつがありますか?※1

あいさつをするとどんなよいことがありますか?※2

### モデリング

学校で、〇〇先生に会ったときにするあいさつをやってみますね。※3

1回目と2回目はどのように違いましたか?※4

ポイント  
表情：明るい笑顔  
声：はっきり  
目線：目線を合わせて  
姿勢：相手に向けて  
身振り手振り

### ロールプレイ

順番に朝のあいさつを練習しましよう。※5



### チャレンジ

あいさつのポイントからいくつか選び、これから取り組むことを決めましよう。※6



### 振り返り・価値付け

相手の方を見てあいさつができていますね。  
〇〇さんのあいさつで教室が明るくなりますね。※7

子どもが、これから始める SST に楽しく参加できるように、学級の実態に合わせてゲームや話をしてウォーミングアップをします。みんなが穏やかな気持ちでトレーニングに参加できるようにしましよう。

「あいさつ」について、子どもの実態に合わせて確認します。子どもが「あいさつ」について、ポジティブに考えることができるようにしましよう。

※1 子どもからあいさつの種類がたくさん出てくるように促しましよう。「ご飯を食べる時のあいさつは?」など具体的に促してもよいですね。

※2 担任が考える「あいさつのよいこと」を一つ紹介してから、子どもに問いかけてみましよう。

※3

1回目：声は小さく、姿勢も悪く、下を向いたまま。(よくないモデル)

2回目：はっきりした声、笑顔、先生の顔を見て、お辞儀をします。(よいモデル)

よくないモデルとよいモデルを示して違いに気付くことができるようにします。

※4 表情や目線、姿勢や身振り手振り等、子どもの気付きを共有しながら、あいさつのポイントを確認します。ポイントは板書や模造紙に残し、確認できるようにしましよう。

※5 ポイントを意識し、練習します。一人一人のロールプレイの後に、よいところを伝え、フィードバックを行います。

(例) すてきな笑顔でしたね。

大きくはっきりとした声でしたね。

〇〇先生を見ていましたね。

名前を言ってあいさつしていましたね。

上手にあいさつができた友達に拍手を贈りましよう。

※6 チャレンジカードにシールやサインを書くなど、意欲的に実践できるような工夫をします。継続して取り組んだことを認め、励ますことがとても重要です。

具体的に誰にどんなあいさつをするかを決めておくことで、取り組みやすくなります。

※7 できないことを叱るより、練習して、できたことを褒めることで、よりよいコミュニケーションの意欲付けを図り、子どもの健やかな成長につなげていきましよう。